

(一社)天竜建設業協会 浜松市天竜区二俣町鹿島491-5 ☎(053)926-1562 FAX(053)925-6468
電子メールアドレス info@tenkenkyo.net ホームページ <http://www.tenkenkyo.net/>
編集・発行 広報委員会 題字 長谷川智彦



八幡神楽

八幡神楽は700年余年前、八幡神社の矢場開きの神事として始まり、その後一時途絶えましたが昭和初期に復活
有志による保存会が結成され、毎年秋に山住神社で奉納舞が行われています。舞には神前で行われる『本舞』と、神興行列の先払いとして歩きながら舞う『道中舞』があります。(写真は本舞)



八幡神楽保存会の皆さん

平成30年 新春メッセージ

明けましておめでとうございます。会員、賛助会員の皆様並びに地域の皆様には、さわやかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
一般社団法人 天竜建設業協会

謹んで新年のお慶びを申し上げます

旧年は、道路の安全確保、災害対応等迅速に対応していただきました。ありがとうございます。本年も市民が安心して暮らすことができるよう、これまで同様のご尽力を賜りたく存じます。協会員皆様のご多幸とご繁栄を心よりお祈り申し上げます。



平成三十年 元旦
浜松市土木部長

横山 幸泰

謹んで新年のお慶びを申し上げます

協会員皆様のご多幸とご繁栄を心よりお祈りいたします。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

平成三十年 元旦
浜松市天竜区長
岡部 昌之



浜松市天竜区長
岡部 昌之



浜松市土木部長
横山 幸泰

謹んで初春のお慶びを申し上げます

昨年は、一方ならぬお世話になり、誠にありがとうございます。本年も「安全・安心」をモットーに、天竜区の経世済民のため、天竜建設業協会協会の皆様と力を合わせ、社会資本整備のために奔走したいと思っております。引き続きよろしくお願ひいたします。協会員の皆様方にとりまして素晴らしい一年となりますよう、お祈り申し上げます。

奔走成年

平成三十年元旦

静岡県浜松土木事務所天竜支局長 鈴木 一彰

謹んで新年のお慶びを申し上げます

昨年は、天竜農林局の治山・林道事業の推進に多大なご尽力をいただき、誠にありがとうございます。厳しい現場での工事でありましたが、引き続き、本年も労働災害「ゼロ」で、よろしくお願ひいたします。協会員の皆様方のご多幸とご繁栄をお祈り申し上げます。

平成三十年 元旦
静岡県西部農林事務所天竜農林局長
関部 和明



静岡県西部農林事務所
天竜農林局長
関部 和明



静岡県浜松土木事務所
天竜支局長
鈴木 一彰

謹んで初春のお慶びを申し上げます

昨年は災害発生時における緊急対応や道路の維持管理にご尽力を賜りお礼申し上げます。新しい年が会員の皆様にとって佳き年でありますようお願い申し上げます。本年も地域の皆様の安全・安心のため尚一層のご尽力をお願いいたします。

平成三十年 元旦

浜松市土木部天竜土木整備事務所
所長 鈴木 秀俊

謹んで新年のお慶びを申し上げます

昨年は林道の維持管理及び災害復旧工事に迅速な対応を賜りまして厚くお礼申し上げます。

本年も会員皆様が無災害で活躍されることを心よりお祈り申し上げます。

平成三十年 元旦

浜松市産業部林業振興課天竜森林事務所
所長 清水 斉司



浜松市産業部林業振興課
天竜森林事務所長
清水 斉司



浜松市土木部
天竜土木整備事務所長
鈴木 秀俊

かんときさん



静岡県浜松市土木事務所
天竜支局 工事課 工事班
深田 泰弘

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

本年度で静岡県浜松市土木事務所天竜支局に配属されて2年目となりました。

天竜区を管轄とする業務では通算6年目となります。

以前は浜松市天竜土木整備事務所天竜区の道路事業に携わっていましたが、天竜支局では、河川・砂防・地すべり・急傾斜事業を担当させていだいています。

担当する事業が違ふと、同じ天竜区でも全く違う風景を見ることができ、業務が充実しています。

特に急傾斜事業は、民家のすぐ近くで工事を施工するので、地権者さんとの日常的なコミュニケーションが重要であると強く感じました。今後とも地域の皆様にお世話になることが多くなると思いますが、少しでも皆様のお役に立てるよう日々努力していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひします。

最近のキーワード

「建設キャリアアップシステム」

技能者が経験・技能に応じて適正に評価され、建設企業の経営を安定化する仕組みとして注目の「建設キャリアアップシステム」(開発・運営主体は建設業振興基金)が2018年4月から登録手続きが始まり、同年10月から運用を開始する予定となっている。

建設業を支える優秀な担い手を確保・育成するため、技能者の現場経験や保有資格、講習受講履歴などをシステムに蓄積し、処遇の改善や技能の研さんにつなげることが狙いだ。

技能者を雇用する事業者は、就業実績や保有資格などが統一的に蓄積されるため技能者の水準を客観的に把握でき、施工力をアピールすることが可能になる。現場を管理する事業者は、技能者の就業状況や社会保険加入、保有資格などを一元的に確認でき、現場管理の効率化が図れるという。

技能者の登録料金は、郵送・窓口申請が3500円、インターネット申請が2500円。事業者は「事業者登録料」「管理者ID利用料」「現場利用料」が必要となる。試算(年間)では、資本金1億円・売上高10億円の企業で事業者登録料1万2000円、管理者ID利用料2400円、現場利用料2万1000円を見込む。

技能者や事業者として常に向上し、安定化を図り、人材を確保・育成する。その過程の中にシステムが有用だと感じるなら、取り込んでいくのも一計だろう。

企画青年委員会工事現場視察研修会

富士山鞍骨沢遊砂地工事現場の視察

(株)渡辺兄弟工業 渡邊雄介

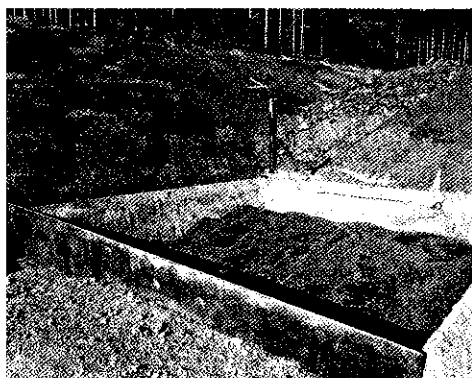
▼はじめに

十一月十日、天竜建設業協会企画青年委員会の活動で、国土交通省中部地方整備局 富士砂防事務所発注の、富士山鞍骨沢遊砂地工事の現場視察を実施しました。当協会より、長谷川会長はじめ、若手技術者十五名が参加しました。

▼砂防ソイルセメント工法について

今回視察の遊砂地工事現場では、基幹堰堤と上流部護岸の一部を、砂防ソイルセメント(INSEM工法)にて施工していました。当日、残念ながらその作業を見ることはできませんでしたが、丁寧にご説明頂きました。

砂防ソイルセメント工法とは、従来のコンクリートの代わりに、現地で発生した土砂と水・セメントを攪拌混合したもの(INSEM材)を内部材として使用して施設を構築するというものでした。



内部材 (INSEM材) 製造場



砂防ソイルセメント工法堰堤

外部保護材として、上流側には土石流による衝突・摩擦等に耐えうる軽量鋼矢板を使用し、下流部保護材には景観性・施工性のよいプレキャストコンクリートを使用していました。



左岸護岸施工状況

この工法により、現地発生残土を有効利用でき、現場から搬出する残土を大幅に少なくしたことで、処分費・運搬費等コスト削減・省人化等施工性が向上。また、残土運搬時の騒音振動・残土処理場確保といった環境問題対策にも繋がっていました。

また、掘削や盛土の土工では、最新ICT技術活用工事ということで、富士山の麓だけあって硬い溶岩石が施工箇所にあり、マシンガ

イダンス又はコントロール搭載のバックホウでは施工困難という事でした。今後、一部土工でICT施工を実施していくことでしたの、さらに作業効率があがるのではないかと思います。



溶岩石破碎状況

▼まとめ

今回はじめて砂防ソイルセメント工法を見学し、とても良い勉強になりました。私たちが仕事する天竜区では、このような大規模な砂防工事には中々ありませんが、小規模なりにできる工法・要素を積極的に取り入れ又は提案し、今後の技術力向上・生産性の向上に繋げていければと思います。また、ICTにも積極的に取り組んでいきたいと思っています。

工事現場のイメージアップ作戦

村松建設(株)

■はじめに

去る11月19日に村松建設(株)が、天竜区船明で進めている下水道工事の現場見学会を行いました。「地域住民に工事の仕組みや仕事の進め方を知ってほしい」(村松敏彦社長)との思いで初めて実施した見学会には、約20人の参加者が集まりました。

■街頭モニターの映像で現場のイメージアップへ

当日は、最初に同社社員が配管のサンプルなどを用いながら、下水道工事の概要と進め方などについて説明しました。同社は現場のイメージアップを目指し、現場付近の街頭にデジタルサイネージ(映像表示装置)を設置し、通行する地域住民らに自社で制作した映像で工事の情報を伝えています。こうした現場イメージアップの取り組みについて紹介し、映像や資料を用いながら下水道工事の軟弱地盤で配管を支えるために採用した「はしご胴木基礎工法」の仕組みを解説しました。

続いて、開削工でマンホールを設置している現場へと移動し、水道管を埋設し舗装を打ち直すまでの工事の進め方や、再生盛土材や再生砕石を用いる舗装の仕組み、埋設するマンホールの構造などについて紹介しました。参加した地域住民らは、普段目にすることの少ない地中に埋設された管やマンホールに興味深げに見学し、時折担当者に工法について質問していました。

その後、参加した子どもたちを対象にしたバックホウなどの重機操縦体験を行い、見学会を終了しました。

■まとめ

見学会に参加した地域住民からは、「工事に携わる業者さんが積極的に情報を発信してくれてありがたい。もっと多くの住民が参加すべき」、「解説を通じて下水道工事の仕組みをよく理解できた」などの反響がありました。また、住民らとともに参加していた浜松市職員は、「工事中は交通規制など地域にご協力を願うことも多いが、こうしたイメージアップの取り組みを通じて現場を身近に感じていただくことが大切だと感じている」と感想を話していました。

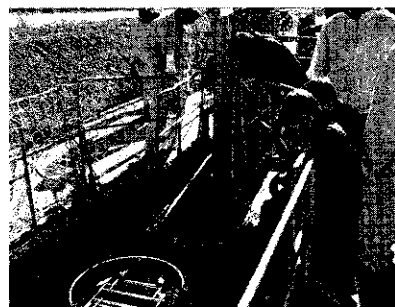
同社は今後も今回のような現場のイメージアップにつながる情報発信を積極的に行っていく方針だとのことです。



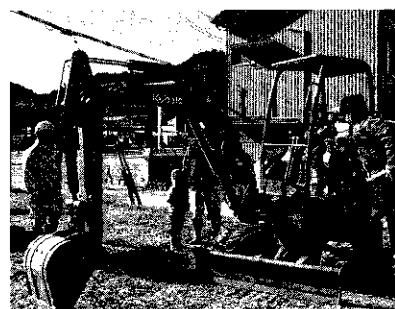
村松建設が地域住民らを招き現場見学会を開催



デジタルサイネージを使用し工事内容を紹介



開削工で進む下水道工事の様子を見学



重機の試乗体験

皆様、はじめまして、私、竜山郵便局の青山佳世と申します。平成二十九年四月より、社会人一年生として頑張っています。私の勤務している竜山郵便局は、浜松市合併当時千三百人あまりあった人口が現在



竜山郵便局
青山 佳世

六百人あまりと半減してしまった龍山町にあります。主に窓口で金融と郵便の業務を担当しています。私はこの地元の龍山で生まれ育ち、多くの地域の方々の支えで大きな事ができました。これからは、郵便局での仕事を通して、少しでも地元に戻す事ができればいいなと思っています。毎日が勉強ですが、常に精一杯の笑顔でお客様をお迎えし、最大のおもてなしができるように頑張っています。まだまだ未熟者ですが、今後ともよろしく願いいたします。

「子供はちゃんと見ています」
「子供は親の背を見て育つ」と聞きますが、そんなことを思わせるエピソードを一つ。
ある日帰宅すると、2歳になる息子が積み木のレールで列車を走らせて遊んでいました。我が家では珍しくない光景ですが、この日はいつもと少し違いました。
「組み立ててあげたの？」自然に妻に聞きました。



森吉組(株)
佐々木 貴俊・愛

しかし、「自分で組み立てていたよ」と意外な答えが返ってきたのです。
線路を8の字にカーブさせて、中央の交差点を上り坂と下り坂の組み合わせでトンネルにするそのコースは、私が以前から息子に作ってあげていたコースです。完璧な8の字ではなかったですが、息子は記憶にある8の字コースを作りたいと考えて実際にレールを組み立てたことになります。
会話がまだできない子供でも、観察力や思考力はもう備わっており、大人の行動が子供の判断材料になっていることに喜びを感じました。
我々大人は、常に良いお手本であり続けないといけませんね。



建設業界の皆様へ

建退共への加入のおすすめ

福祉の増進と企業の振興のための国の退職金制度です

- 17万建設事業所が加入、221万人の建設現場の就業者が退職金支給対象となっています。
- これまでに累計で235万件、1兆6,955億円の退職金をお支払いしています。(平成29年7月現在)

建設工事の第一線で働く優秀な人材確保にも寄与！

- 特長**
- ◎ 法律に基づき運営される国が作った制度
 - ◎ 複数の企業間を就業しても通算して退職金を支給
 - ◎ 掛金は全額非課税
(損金または必要経費に算入できます)
 - ◎ 建退共加入は「経営事項審査」で加点評価
 - ◎ 国からの財政上の支援
(国の助成により掛金の一部が免除)

こんなに有利

掛金納付年数	掛金総額	退職金額
30年	234万円	390万円
25年	195万円	302万円
20年	156万円	225万円
15年	117万円	157万円
10年	78万円	94万円

建退共は建設業で働く労働者のための退職金制度です。

- 加入できる事業主
建設業を営む事業主

- 対象となる労働者
建設業の現場で働く方

- 掛金は一日310円
(加入労働者ひとり)

お申込・お問合せ 独立行政法人勤労者退職金共済機構 建退共静岡県支部

〒420-0857 静岡市葵区御幸町9-9 TEL054-255-6846

建退共本部のホームページを
ぜひ、ごらん下さい

建退共

検索